

R8年度 卒業生講話

実施内容

- 卒業して3年経った方を学校に呼んでお話しいただく企画です。
- 今年度はなんと台風直撃のため学校が休校になり当日は中止となりました。
- そこで動画を作成し、まず3年生に観てもらいました！



生徒の感想

先輩達のお話を聞いて、高校のときの自分や環境と社会人になったときの自分や環境は全く違うのだと気づきました。それを聞いて、環境に対応できるような人になりたいと思いました。

自分の考えを持ち、それを相手に伝えることが大事だと分かりました。高校を卒業したら幅広い年齢の方との関わりが増えるのでコミュニケーションをきちんと取っていくことが大切だと思いました。

たくさんの面接練習をして、安心して仕事に就けるようにしたいです。私はコミュニケーションを取ることが苦手なので少しずつ力をつけていきたいと思いました。人間関係をしっかり広げていき人とのコミュニケーションをしっかりと頑張っていきたいと思いました。

Iさん、Wさんの二人とも、年上の方の社会人としてのコミュニケーション能力や言葉が出ていて、社会に出て大事なことを知りました。自分から人に積極的に関わろうと心がけたいです。

2人の先輩方のお話を聞いて、「学生の際は教えてもらって学ぶ、社会人になってからは自分から学ぶに変わった」と言っていて、私も自分から学べるような人になりたいと思いました。また、関わる人の幅も広がるということだったので、私もコミュニケーション能力を上げていって、将来に活かしていきたいと思いました。

Iさんの「教えてもらうから自分から学ぶになった」という言葉に共感しました。私も専門学校に行き、保育を学びます。子供の事は分からない事だらけだから、自分から学びにいく姿勢が大切だと思いました。2人の話で共通しているのは人間関係についてです。高校は好きな人と関わっていたけれど、社会に出たら嫌な人とも苦手な人とも関わらないといけなくなるので、少し不安です。

社会人になるために、先輩たちの講話を聴いて「会話ができる人」になるということを学んだ。コミュニケーションを会社の人とたくさんとるということも社会人になるために大切なこと。今回の講話をこれからの進路のための活動に活かしていきたいと思った。

秋田公立美術大学での流れは高校と違い、授業では自分で問いを見つけたり、あと自分の考えを持ったり、説明する力が必要なことが分かった。

イチカワ株式会社のお話では、まず一般常識を覚え、面接の練習をたくさんすることが大切。仕事はチームワークで周囲をよく見て動くことが大事なことがわかった。

社会人と大学などの学生は、高校生とは違い、関わる人の特徴が共通することが多い。そのことから、1つだけ共通点のある人や、共通点のない人との関係が増え、また同じくらいの年代だけでなく、ほかの年代との関わりも増えるため、コミュニケーション能力が必要なことが分かった。

進学した場合と就職した場合のお話をどちらも聞けたため、比較することができ、とても参考になった。進学・就職それぞれならではの要素もあったが、共通点が多く感じられ、どちらの道を選んでも大切にすることや必要とされることは変わらないんだと思った。特に、コミュニケーション能力や、主体的な姿勢が大切になるとのことが共通してお話しされていたため、これからの学校生活はそれらを意識して、コミュニケーション能力を磨いていきたい。私は進学を目指しているため、先輩のお話を中心に参考にし、自分の進路活動に活かしたい。

高校は、「教えてもらう」学び、大学は「自分から進んで学ぶ」学びに変化することを知りました。自ら進んで学ぶことは、自分の新しい一面を知ることでもできると考えました。普段、私はたまに周りに流されてしまったりして、自らの考えを放棄してしまうことが多いので、積極的に意見を出したり、周りとは違う意見や考えでも、恐れずに突き進んで挑戦してみたいです。また、どの職業でもどんな進学先でも、必ずコミュニケーション能力が大切になると思いました。自分が好きな友人、仲のいい人だけでなく社会に出れば年齢差のある人や、意見や価値観が合わない人とも接することになるので、そこは確かに不安になるかもしれませんが、「そういう考え方もあるんだ」ということは新しい一面として捉え、間違っていると思うことは否定した後に、なぜそう思うのかを述べられるような人になりたいと思いました。